

九州厚生局長 殿

学校法人 久留米大学  
理事長 神代 正道

久留米大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	196.57 人
--------	----------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数 単位 人

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医師	495	2.0	496.7	看護業務補助者	17	診療エックス線技師	
歯科医師	12		12.0	理学療法士	19	臨床検査 衛生検査 その他	76
薬剤師	56		56.0	作業療法士	9		
保健師			0.0	視能訓練士	6		
助産師	38		38.0	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	969	3.8	972.8	臨床工学技士	15	医療社会事業従事者	10
准看護師	6		6.0	栄養士	1	その他の技術員	20
歯科衛生士	3	0.5	3.5	歯科技工士	2	事務職員	98
管理栄養士	12		12.0	診療放射線技師	52	その他の職員	54

(注)1 報告?

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を少数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	842.4 人	20.1 人	862.5 人
1日当たり平均外来患者数	1,869.3 人	83.7 人	1,953.0 人
1日当たり平均調剤数			1,315.6 剤

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除すること。





(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	血管内皮前駆細胞を用いた肝硬変症に対する肝臓再生療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 非代償性肝硬変症患者を対象とし、患者自身の末梢血から採取した幹細胞(CD34陽性細胞)移植による肝臓再生療法を行っている。適応基準は、同意取得時の年齢が20歳以上、75歳以下(性別不問)、血清アルブミン濃度が3.0g/dL未満の患者である。安全性について、現在までに重篤な有害事象の発生はない。有効性について、血清アルブミン値の上昇やPT-INR値の低下、門脈血流の増加、内服利尿剤の減量・中止等の結果が得られている。			
医療技術名	ハイブリッド訓練システムによる非アルコール性脂肪性肝障害の治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 ハイブリッド訓練システムは、宇宙ステーション滞在にともなう筋萎縮予防を目的に開発された電気刺激と自発運動による新規運動療法である。当科では、食事療法や運動療法を3ヶ月以上指導したにも関わらず肝障害の改善が認められない非アルコール性脂肪性肝障害患者に対して、ハイブリッド訓練システムを用いた治療を行っている。これまでに12症例に実施し、明らかな有害事象は認められていない。また、血清ALT値やIL-6値の低下、インスリン抵抗性や脂肪肝の改善といった有効性が確認されている(J Gastroenterol. 2011;46:746-57)。			
医療技術名	フェコフローメトリーによる客観的排便機能評価	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 直腸肛門外科術後の客観的排便機能評価は小児、成人共に難しい。ウロフローメトリーを応用した模擬便注腸時の耐容量、注腸内容の排泄パターンや排泄量、排泄時間を排泄曲線から排便機能を定量化する客観的検査法である。			
医療技術名	食道インピーダンス法による食道運動機能評価	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 pHや内圧検査とは全く異なる食道インピーダンス検査法により従来の検査で捉えられなかったようなアルカリ逆流や弱酸逆流を的確に捉え、胃食道逆流症の手術適応に關し的確な判断材料となる検査法である。			
医療技術名	多チャンネル直腸肛門内圧測定による三次元立体圧像・断面圧像作成	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 多チャンネル圧センサーを用い直腸肛門内圧測定を行い、直腸肛門の内圧分布を三次元的に表示し直腸肛門運動機能評価する検査法である。			
医療技術名	13C呼気試験を用いた術前・術後の胃運動機能評価	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 炭素Cの安定同位元素である13C標識化合物を試験食に混合したものを服用させ胃から排出され小腸で吸収、肝臓で代謝された呼気中の13CO <sub>2</sub> 濃度を測定し胃排出能を評価する非侵襲的胃運動機能検査法である。			
医療技術名	胃電図を用いた胃運動機能評価	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 内圧検査など侵襲を伴う胃運動機能検査ではなく、腹壁に電極を貼付し経皮的に胃運動機能を測定評価する非侵襲的検査である。			
医療技術名	ミトコンドリア脳筋症(MELAS)に対するL-アルギニン治療	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 ミトコンドリア脳筋症の一病型であり脳卒中様発作を主徴とする難病MELASの治療については、世界的に見ても有効な治療法は見いだされていない。古賀靖敏を主任研究者とするL-アルギニン療法は、MELASの急性期治療および発作寛解期の脳卒中様発作の予防治療として注目されており、現在、医師主導治験として日本でPhaseIIIが進められている。この治療法は、臨床研究として、久留米大学で医師主導治験以前に行っており、現在もその治療を継続している。			
医療技術名	ミトコンドリア脳筋症の遺伝子診断	取扱患者数	42人
当該医療技術の概要 臨床的にミトコンドリア脳筋症を疑われた症例のミトコンドリアDNAの検索依頼が全国の臨床施設からなされ、久留米大学医学部小児科の研究室でDNAを分離し、16.6kbのミトコンドリアDNAの全塩基解析を行った。			

医療技術名	ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発	取扱患者数	12人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>高乳酸血症は、種々の難治性神経・代謝疾患で観察される重要な病態であるが、この治療薬は今だ世界に存在せず、その病態を踏まえた新しい治療薬の開発が熱望されている。ピルビン酸ナトリウム(PA)治療(Mitochondrion 2007;7:399-403)は、ミトコンドリア病の細胞モデルで細胞死を防ぐ効果があり、臨床研究でもジクロロ酢酸に勝る乳酸の軽減効果と臨床的有効性がある事を報告した。現在は、工業用試薬であるが、この3年間の班研究が採択されれば、医薬品として上市するのに必要な非臨床試験および第1、第2相試験を完了でき、将来の医師主導試験(第3相試験)へ向けたインフラ整備の実施、2)第1相試験移行のための非臨床試験の実施、3)第1相試験の試験計画の策定と治験相談の実施、研究2年目は、4)第1相試験の実施、5)第2相試験移行のための非臨床試験の実施、6)第2相試験の試験計画の策定、研究3年目は、7)第2相試験、8)第3相試験移行のための非臨床試験の実施、9)原体および製剤の長期安定性試験などを実施する。効果的治療法が開発されなければ、細胞死が惹起され、患者では後遺障害、QOLの悪化、リハビリや社会復帰のための医療費増大などが起こる。この治療薬の開発は、患者のQOLを改善するのみでなく、患者の社会参加、医療費抑制、社会における経済効果の浮揚に大きく貢献できると考えられる。この研究は、国が定めた種々の指針を遵守し、特に医薬品開発を目的とした「医薬品の臨床試験の実施の基準に対する省令」を遵守し行う。本研究の特筆すべき特徴は、試薬から出発し医薬品としての希少疾病に対する新規治療法開発を目的とし、この班研究で非臨床試験と第1・2相試験を行い、新GCPに準拠した第3相試験(医師主導試験)への橋渡し研究とした点にある。申請者は、MELASに対するアルギニン試験(医師主導試験)の実績があり、患者リクルートも完了しており、独創的かつ効果的・効率的な研究の実施が可能である。今回、パートナー製薬企業が決定し、PMDAの戦略薬事前相談を10月6日に終了し、平成24年度の年初に本相談の日程調整中である。研究期間中に、製剤特許を新たに申請する予定であり、日本から世界に発信できるミトコンドリア病に対するPAの新規医薬品開発の研究である。</p>			
医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	1人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>重度の肝硬変患者に対し、生体肝移植を行った。</p>			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。



(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	66人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	34人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	70人	・原発性胆汁性肝硬変	14人
・全身性エリテマトーデス	140人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	12人
・再生不良性貧血	23人	・混合性結合組織病	28人
・サルコイドーシス	87人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	11人	・特発性間質性肺炎	9人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	135人	・網膜色素変性症	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	62人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	25人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	107人	・神経線維腫症	11人
・大動脈炎症候群	25人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	22人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	36人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	50人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	91人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2人
・後縦靭帯骨化症	39人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	16人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	5人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	7人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	8人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	32人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
※別紙1の通り				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計149

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
※別紙2の通り			

計 180

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
喘息死、COPD及びマウスモデルにおける炎症細胞とサイトカインに関する研究	星野 友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
新しい自己炎症疾患から学ぶポストゲノム時代の蛋白機能解析	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	1,820,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
COPD、うつ病および睡眠障害併存例の疫学と全身性炎症の関与に関する研究	川山 智隆	呼吸器・神経・膠原病内科	2,210,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
抗IL-18受容体抗体を用いた炎症性呼吸器疾患治療研究	今岡 治樹	呼吸器・神経・膠原病内科	2,210,000	補委 文部科学省
血管内皮細胞由来IL-33による血管炎病態形成メカニズムの解析	海江田 信二郎	呼吸器・神経・膠原病内科	2,860,000	補委 文部科学省
臨床疫学調査結果・新規免疫検査結果に基づくアトピー性脊髄炎の新規診断基準作成とその国内外での臨床応用	谷脇 考恭	呼吸器・神経・膠原病内科	700,000	補委 厚生労働省
関節リウマチに対する生物学的製剤の作用機序、投与方法、治療効果等に関する研究	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	2,000,000	補委 厚生労働省
家族性地中海熱の病態解明と治療指針の確立	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	300,000	補委 厚生労働省
中條-西村症候群の疾患概念の確立と病態解明に基づく特異的治療法の開発	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	2,000,000	補委 厚生労働省
TNF受容体関連周期性症候群(TRAPS)の病態の解明と診断基準作成に関する研究	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	500,000	補委 厚生労働省
地域蓄積・収集した稀少疾患の系統的原因究明	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	1,500,000	補委 厚生労働省
iPS細胞を用いた肝細胞癌に対する血管新生抑制遺伝子治療のベクター細胞作製の試み	鳥村 拓司	消化器内科・先端癌治療センター	1,300,000	補委 文部科学省
日本人クローン病のバイオマーカーの確立	光山 慶一	消化器内科	1,430,000	補委 文部科学省
ヒトTCF-4アイソフォームによる造腫瘍能獲得は低酸素依存性である	古賀浩徳	消化器内科	2,730,000	補委 文部科学省
HCV IRES領域の遺伝子変異解析を用いたC型慢性肝炎治療効果予測法の確立	緒方 啓	消化器内科	650,000	補委 文部科学省
CD34陽性細胞移植による肝硬変症に対する効率的な肝再生促進法の開発	中村 徹	消化器内科	1,820,000	補委 文部科学省
胆管細胞癌浸潤における癌組織内間質構築の意義	桑原礼一郎	消化器内科	2,340,000	補委 文部科学省
粘膜再生を目的とした新しい白血球除去療法の確立	山崎 博	消化器内科	2,080,000	補委 文部科学省
酸化アルブミン制御による肝発癌抑制効果の検討	佐田通夫	消化器内科	1,040,000	補委 文部科学省
肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究	鳥村 拓司	消化器内科	1,500,000	補委 厚生労働省
血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎及び臨床的研究	井出 達也	消化器内科	800,000	補委 厚生労働省
肝がんの新規治療法に関する研究	佐田 通夫	消化器内科	2,000,000	補委 厚生労働省
ラットTNBS大腸炎モデルでのAsMIF/SPGの局所投与、および炎症性腸疾患患者末梢白血球でのAsMIF/SPGの添加(in vitro)の効果の評価	光山 慶一	消化器内科	4,000,000	補委 (独)医薬基盤研究所
慢性腎不全における心血管病発症の分子機構:血管内皮機能の視点から	今泉 勉	心臓・血管内科	5,200,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
マスターサイトカインを標的とした細胞老化制御と革新的な大動脈瘤治療法の開発	青木 浩樹	循環器病研究所	4,420,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
心筋-血管クロストークの解析:前高血圧期への介入による高血圧発症予防の分子機序	甲斐 久史	心臓・血管内科	1,430,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
尿中ナトリウム排泄とメタボリック症候群進展の疫学的考察	平井 祐治	心臓・血管内科	910,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
医療従事者の職場における活性・再生を目指したメンタルヘルス対策に関する検討	豊増 功次	健康スポーツ科学センター	2,760,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
持続的潜在性心筋障害は一般健常集団における心血管リスクとなるのか?	新山 寛	心臓・血管内科	1,430,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
一般健常集団における心血管リスクとしての血小板・内皮マイクロパーティクル	安岡 逸	心臓・血管内科	1,690,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
血中フェチリンA高値は、脳梗塞発症の危険因子であるかの縦断研究	足達 寿	地域医療連携講座	2,470,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
心筋障害ストレスに対する心筋保護機構:SOCS1による細胞内シグナル調節の視点から	安川 秀雄	循環器病センター	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
FDG-PET/CTを用いた冠動脈ステント留置部位の分子病態の解明	田原 宣広	心臓・血管内科	2,210,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
多点マッピングシステムを用いた心臓再同期療法有効患者の検出	稲毛 智仁	心臓・血管内科	2,210,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
老化指標のDHEASと認知機能、睡眠との疫学調査	榎本 美佳	心臓・血管内科	3,640,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
心不全の病態における樹状細胞の機能解析と、樹状細胞を標的とした心不全治療の研究	杉 雄介	心臓・血管内科	1,820,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
敗血症性心不全に対する心筋細胞保護の分子機構-サイトカインシグナル制御の視点から	二又 誠義	心臓・血管内科	1,820,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
IL-6系によるマクロファージ分化制御機構の解明と大動脈瘤治療法への応用	大野 聡子	心臓・血管内科	1,690,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
動脈管の器質的閉鎖における分子機構解明と治療標的分子の同定	梶本 英美	循環器病研究所	1,560,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
色素上皮由来因子受容体の機能性アプタマーによる抗動脈硬化作用	陣内 裕子	心臓・血管内科	2,210,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
血管内皮前駆細胞への低強度パルス型超音波刺激による新しい血管新生療法の開発	外山 康之	心臓・血管内科	2,600,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
短期間一過性四肢虚血がもたらす心筋虚血耐性メカニズムの解明	大場 豊治	心臓・血管内科	2,210,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
血清NAG活性は総死亡、特に脳心血管死の予測因子となるかの前向き疫学研究	吉川 邦子	心臓・血管内科	2,470,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
Endothelin-1(ET-1)高値は腎不全悪化の予知因子である	横井 加奈子	心臓・血管内科	2,470,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
血小板由来膜小胞体による血管内皮前駆細胞機能増強効果を応用した血管新生療法の開発	大塚 昌紀	心臓・血管内科	1,690,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
血管内皮前駆細胞の機能強化と磁気誘導による次世代型血管新生療法の開発	仲吉 孝晴	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金
難治性心血管病の分子機序解明と新規治療法開発のための研究拠点形成	今泉 勉	心臓・血管内科	42,031,000	補委	文部科学省:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
特発性心筋症に関する調査研究班	今泉 勉(分担)	心臓・血管内科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金「難治性疾患克服研究事業」
循環器内科におけるうつ病と睡眠障害に関する観察研究	竹内 智宏(分担)	心臓・血管内科	500,000	補委	厚生労働科学研究費補助金「こころの健康科学研究事業」
大動脈瘤におけるマクロファージの機能制御と特異的サイトカイン療法の開発	青木 浩樹	循環器病研究所	2,000,000	補委	公益財団法人第一三共生命科学振興財団
大動脈解離の分子病態解明と創薬ターゲット同定への挑戦	青木 浩樹	循環器病研究所	10,000,000	補委	第一三共株式会社:TaNeDS
大動脈解離:分子病態解明への挑戦	青木 浩樹	循環器病研究所	5,000,000	補委	公益財団法人上原記念生命科学財団
内臓・皮下脂肪量と脂炎症に關与する因子の解明	溝口 ミノリ	心臓・血管内科	1,000,000	補委	公益財団法人福田記念医療技術振興財団
血小板由来膜小胞体による血管内皮前駆細胞機能増強効果を応用した血管新生療法の開発	大塚 昌紀	心臓・血管内科	900,000	補委	石橋学術振興基金
血管内皮前駆細胞の抗アポトーシス機能増強による新規血管新生療法の開発	仲吉 孝晴	心臓・血管内科	1,000,000	補委	財団法人木村記念循環器財団

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
メタボリック症候群におけるCKD発症の分子基盤の解明	奥田 誠也	腎臓内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
RAGEをターゲットとした糖尿病性腎症・RPGNの新規治療法の開発	深水 圭	腎臓内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
進行性腎障害におけるSOCSの役割の解明	小池 清美	腎臓内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
CKD診療における新たなバイオマーカーの確立	藤見 綾子	腎臓内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
急性腎障害における非対称ジメチルアルニギンの生命予後、腎予後に果たす役割の検討	上田 誠二	腎臓内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
睡眠障害患者のQOLを改善するための科学的根拠に基づいた診断治療技術の開発	内村直尚	神経精神医学	3,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金:障害者対策総合研究事業(三島和夫班)
自殺のハイリスク者の実態解明及び自殺予防に関する研究	内村直尚	神経精神医学	1,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金:こころの健康科学研究事業(伊藤弘人班)
健康づくりのための休養や睡眠の在り方に関する研究	内村直尚	神経精神医学	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金:循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業(兼板佳孝班)
血小板低値例のインターフェロン治療法への確立を目指した基礎および臨床的研究	内村直尚	神経精神医学	800,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金:肝炎等克服緊急対策事業(西口修平班)
夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究	内村直尚	神経精神医学	20,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:挑戦的萌芽研究(新小田春美班)
睡眠医療における医療機関連携ガイドラインの有効性検証に関する研究	内村直尚	神経精神医学	500,000	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究開発費(清水徹男班)
心理的ウェルビーイング 多施設共同研究	内村直尚	神経精神医学	100,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:基盤研究(B)(津田 彰班)
多面的高次脳機能解析システムによる認知機能障害の診断と治療法	森田喜一郎	神経精神医学	650,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:基盤研究(C)
地域における認知症の早期発見と予防:視覚認知機能を指標として	森田喜一郎	神経精神医学	1,000,000	補委 鈴木謙三記念財団法人医科学応用研究財団研究助成金
大規模災害や犯罪被害等による精神疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究	前田正治	神経精神医学	450,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金:こころの健康科学研究事業(金 吉晴班)
抗うつ薬への反応性を早期に予測する睡眠指標の同定と効率的なうつ病治療法の開発	土生川光成	神経精神医学	2,990,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:基盤研究(C)
精神疾患関連分子である代謝型グルタミン酸受容体5の活性調節機構の解明	上松 謙	神経精神医学	2,340,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:若手研究(B)
青年期の解離アセスメントの精緻化と心理療法への利用可能性の検討	舛田亮太	神経精神医学	1,001,000	補委 文部科学省科学研究費補助金:研究活動スタート支援
MELASに対するL-アルギニン治療(AJA030/AJA001)の治験研究	古賀 靖敏	小児科	69,326,000	補委 日本医師会治験促進センター(治験推進研究事業)
治験の実施に関する研究[L-アルギニン]	古賀 靖敏	小児科	1,000,000	補委 日本医師会治験促進センター(治験推進研究事業)
ミトコンドリア病の診断と治療に関する調査研究	古賀 靖敏	小児科	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
ミトコンドリア脳筋症に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウムの治療法開発-試薬からの希少疾病治療薬開発の試み-	古賀 靖敏	小児科	11,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
クロソ分子機構におけるミトコンドリアエネルギー代謝との関連	古賀 靖敏	小児科	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
Allagille症候群など遺伝性胆汁うっ滞性疾患の診断ガイドライン作成、実態調査並びに生体資料のバンク化に関する研究	木村 昭彦	小児科	500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
胆汁酸代謝異常症の遺伝子診断と内科的治療法の確立～肝移植回避を目指して～	水落 建輝	小児科	1,300,000	補委	文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))
包括的な生物学的指標を用いた発達障害児の病態解明・治療法に関する研究	松石 豊次郎	小児科	1,300,000	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
小児神経伝達物質病の診断基準の作成と患者数の実態調査に関する研究	松石 豊次郎	小児科	600,000	補委	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
レット症候群の診断と予防・治療法確立のための臨床および生物科学の集学的研究	松石 豊次郎	小児科	800,000	補委	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
発達障害の診断および治療法開発に関する臨床研究	山下裕史朗	小児科	1,500,000	補委	精神・神経疾患研究開発費
機能的脳画像法による思春期やせ症の病態解明と治療に関する研究	永光信一郎	小児科	1,430,000	補委	科学研究費
小児重症心身障害児の胃食道逆流症に対する新しい診断システムの構築	深堀 優	小児外科	3,900,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金:若手研究(B)
フェコフローメトリーによる排便機能障害の診断と漢方治療効果判定	八木 実	小児外科	780,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金:基盤研究(C)
血管内皮前駆細胞移植による血管新生療法に対するShh遺伝子治療の併用効果	岡崎悌之	外科	910,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	永田見生	整形外科	9,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発	永田見生	整形外科	700,000	補委	厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業
腰痛の診断・治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」	永田見生	整形外科	800,000	補委	厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業
難病、頸椎後縦靭帯骨化症特異性タンパク質の発見とそのメカニズムの解明	永田見生	整形外科	700,000	補委	文部科学省研究費補助金
膝靭帯再建における正常の骨一靭帯移行部再現に必要な術式及び生物活性物質の研究	副島 崇	整形外科	900,000	補委	文部科学省研究費補助金
新規ペプチドOBAPの生理活性の検討	福島信広	整形外科	1,700,000	補委	文部科学省研究費補助金
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	平岡弘二	整形外科	200,000	補委	厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
軟部組織腫瘍発生・増殖に影響するマスト細胞の機能検索	山内 俊彦	形成外科・顎顔面外科	1,820,000	補委	日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金:基盤研究(C)
脳動脈壁検体プロテオミクス解析を中心としたもやもや病の病因解析研究	森岡基浩	脳神経外科	1,950,000	補委	文部科学省科学研究費:基盤研究(C)
直接血管吻合によらない脳血流改善治療法の開発	森岡基浩	脳神経外科	65,000	補委	文部科学省科学研究費:基盤研究(C)(大森雄樹班)
脳動脈瘤破裂の病態にかかわる分子機構の解明と、薬物療法開発のための基礎研究	森岡基浩	脳神経外科	65,000	補委	文部科学省科学研究費:基盤研究(C)(河野隆幸班)
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	寺崎瑞彦	脳神経外科	5,113,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金(伊東恭悟班)
表皮細胞内カルシウム濃度の調節:3種のカルシウムポンプの機能協調と角化への関与	濱田 尚宏	皮膚科	3,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
疱疹状天疱瘡・増殖性天疱瘡における抗デスモコリン自己抗体の関与の研究	石井 文人	皮膚科	2,800,000	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
170kD腫瘍随伴性天疱瘡など7種の未知自己免疫性水疱症抗原のプロテオミクス解析	荒川正崇	皮膚科	4,000,000	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)
IEN型IgA天疱瘡と基底板上部型線状IgA水疱性皮膚性の未知抗原の同定	土坂享成	皮膚科	3,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
皮膚癌の形成、浸潤や転移におけるデスモソーム構成分子の役割についての研究	TEYE KWESI	皮膚科	3,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
さまざまな類天疱瘡の疾患群の抗原の詳細な解析と新しい検査法の開発による診断基準の作成	橋本 隆	皮膚科	13,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金
家族性良性慢性天疱瘡(Hailey-Hailey病)の診断基準作成とATP2C1遺伝子解析に関する研究	橋本 隆	皮膚科	13,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	嘉村敏治	産婦人科	4,200,000	補委 独立行政法人国立がん研究センター
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	嘉村敏治	産婦人科	800,000	補委 厚生労働省
卵巣癌、子宮体癌癌幹細胞に対する synthetic microRNA療法の開発	津田 尚武	産婦人科	1,560,000	補委 文部科学省
Rac1とNADPHオキシダーゼ阻害による網膜色素変性モデルの視細胞保護効果	春田 雅俊	眼科	1,269,000	補委 独立行政法人日本学術振興会:科学研究費補助金
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究	早瀬尚文	放射線科	455,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
胃悪性リンパ腫の予防と治療に関する基礎的および臨床的研究	早瀬尚文	放射線科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
食道癌のPET/CTによる治療効果判定の分子病理学的検討	石橋正敏	放射線科	1,430,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
NASHのSPIO-MRIによる評価:クッパー細胞機能とCD14抗原との関連	藤本公則	画像診断センター	1,430,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
進行期卵巣癌における核医学トレーサーとバイオマーカーによる化学療法感受性の予測	倉田精二	放射線科	1,820,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
PET/CTと高分解能心臓CTでの不安定プラークの検出とサイトカインの関連	甲斐田勇人	放射線科	780,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
HER2陽性乳癌における免疫学的解析-免疫学的治療戦略の有効性についての検討	関 直子	歯科口腔医療センター	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費(基盤研究C)
フラボン誘導体Factor-Xの生物学的活性(抗腫瘍・抗ウイルス効果)の検討	青木 将虎	歯科口腔医療センター	1,170,000	補委 文部科学省科学研究費(若手研究B)
肺癌における免疫染色を用いた新しいEGFR遺伝子変異検出法の確立	河原 明彦	病院病理部	600,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
門脈血行異常症に関する調査研究	鹿毛 政義	病院病理部	1,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
慢性肝疾患における非侵襲的弾性検査法を用いた肝線維化予測に関する研究(FIBROELAST Study)	鹿毛 政義	病院病理部	1,500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
循環器疾患等の救命率向上に資する効果的な救急蘇生法の普及啓発に関する研究 ドクターヘリによる循環器疾患の救命率向上についての研究	坂本 照夫	高度救命救急センター	150,000	補委 平成23年度厚生労働省科学研究費補助金
抗HBs人免疫グロブリンの国内製造用原料血漿収集におけるB型肝炎ワクチン接種の有効性に係わる基礎的検討	矢野博久	病理学講座	4,500,000	補委 厚生労働省科学研究補助金 研究代表者 八橋 弘
病態別の患者の実態把握のための調査および肝炎患者の病態に即した相談に対応できる相談員育成のための研修プログラム策定に関する研究	矢野博久	病理学講座	1,500,000	補委 厚生労働省科学研究補助金 研究代表者 八橋 弘
小児難治性疾患における病理診断の標準化およびデータベースの構築とその有効利用	大島 孝一	病理学講座	1,000,000	補委 成育医療研究開発費
ATLの腫瘍化並びに急性転化、病型変化に関連する遺伝子群の探索と病態への関与の研究	大島 孝一	病理学講座	1,500,000	補委 第3次対がん総合戦略研究事業
ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	大島 孝一	病理学講座	800,000	補委 厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業
悪性リンパ腫を中心とするがんの病態を研究し、新しい分類を確立する	大島 孝一	病理学講座	1,000,000	補委 出雲市支援がん研究プロジェクト
ウイルス性肝炎に対する応答性を規定する宿主因子を含めた情報のデータベース構築・治療応用に関する研究	長尾由実子	消化器疾患情報講座	0	補委 厚生労働省
口腔粘膜疾患とC型肝炎のインスリン抵抗性についての検討-歯科医師の役割を含めて	長尾由実子	消化器疾患情報講座	1,690,000	補委 文部科学省
インスリン抵抗性のBMPs誘導肝癌上皮間葉移行における細胞生物学的意義	川口 巧	消化器疾患情報講座	1,300,000	補委 文部科学省
酸化アルブミン制御による肝発癌抑制効果の検討	川口 巧	消化器疾患情報講座	100,000	補委 文部科学省

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	伊東恭悟	免疫・免疫治療学講座	21,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金がん臨床研究事業
去勢抵抗性前立腺がんに対する新規がんペプチドワクチン療法開発のための第Ⅰ相・第Ⅱ相(前半)臨床試験	伊東恭悟	免疫・免疫治療学講座	3,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業
「効果的な複合免疫療法の確立」(個別化ペプチドワクチンにおける血液バイオマーカーの同定と治療戦略の構築)	伊東恭悟	免疫・免疫治療学講座	20,000,000	補委 科学技術試験研究委託事業
統合失調症の発症に関わる前頭前野および扁桃体に対するモノアミンの作用	田中永一郎	生理学講座 脳・神経機能部門	1,560,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
発達障害に対する神経内分泌ホルモン「グレリン」の関与とその治療効果	西 芳寛	生理学講座 脳・神経機能部門	1,560,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
Rett症候群モデルiPS細胞による病態メカニズムの解明と移植再生治療法の開発	岡部恭典	生理学講座 脳・神経機能部門	1,820,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
生体組織メソスケール3次元解析のためのFIB連続切削SEM表面組成観察法の最適化	中村桂一郎	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門	1,950,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞移植による異所性骨形成モデルを用いた骨形成関連細胞の系譜解析	田上 隆一郎	解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門	1,690,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肺がん、肝臓がん及び膀胱がん症例に対するテーラーメイドがんペプチドワクチン療法の実用化研究	野口 正典	先端癌治療研究センター臨床研究部門	79,700,000	補委 文部科学省地域産学官連携科学技術振興事業補助金イノベーションシステム整備事業
前立腺がん患者免疫能のゲノム・エピゲノム解析	野口 正典	先端癌治療研究センター臨床研究部門	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
去勢抵抗性前立腺がんに対する新規がんペプチドワクチン療法開発のための第Ⅰ相・第Ⅱ相(前半)臨床試験(H23-実用化(がん)一般-012)	野口 正典	先端癌治療研究センター臨床研究部門	157,300,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
終末糖化産物アプタマーを用いた糖尿病血管症の治療戦略	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学	5,850,000	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)
私立大学戦略的研究基盤支援事業	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学	30,000,000	補委 文部科学省私立大学戦略的研究基盤支援事業
乳房温存療法後の放射線治療後の皮膚ケアに関する研究	淡河恵津世	重粒子線がん治療学	68,940	補委 公益社団法人日本放射線腫瘍学会課題研究助成金
胃悪性リンパ腫の予防と治療に関する基礎的および臨床的研究	淡河恵津世(研究分担者)	重粒子線がん治療学	50,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
胃悪性リンパ腫の予防と治療に関する基礎的および臨床的研究	鈴木 弦(研究分担者)	重粒子線がん治療学	50,000	補委 文部科学省科学研究費補助金

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主たるものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合には「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Chronobiol Int	2011年4月	Methotrexate chronotherapy is effective against rheumatoid arthritis.	Ida H	呼吸器・神経・膠原病部門
Rheumatology (Oxford)	2011年5月	The power Doppler ultrasonography score from 24 synovial sites or 6 simplified synovial sites, including the metacarpophalangeal joints, reflects the clinical disease activity and level of serum biomarkers in patients with rheumatoid arthritis.	Ida H	呼吸器・神経・膠原病部門
Mod Rheumatol	2011年6月	Reduction in serum levels of substance P in patients with rheumatoid arthritis by etanercept, a tumor necrosis factor inhibitor.	Ida H	呼吸器・神経・膠原病部門
PLoS One	2011年9月	Overexpression of chitinase 3-like 1/YKL-40 in lung-specific IL-18-transgenic mice, smokers and COPD.	Sakazaki Y	呼吸器・神経・膠原病部門
Proc Natl Acad Sci U S A	2011年9月	Proteasome assembly defect due to a proteasome subunit beta type 8 (PSMB8) mutation causes the autoinflammatory disorder, Nakajo-Nishimura syndrome.	Ida H	呼吸器・神経・膠原病部門
Clin Exp Rheumatol	2011年9月	Soluble urokinase plasminogen activator receptor as a useful biomarker to predict the response to adalimumab in patients with rheumatoid arthritis in a Japanese population.	Ida H	呼吸器・神経・膠原病部門
J Rheumatol	2011年12月	CD4+CD25(high)CD127(low/-) Treg cell frequency from peripheral blood correlates with disease activity in patients with rheumatoid arthritis.	Ida H	呼吸器・神経・膠原病部門
Mod Rheumatol	2012年1月	Treatment discontinuation in patients with very early rheumatoid arthritis in sustained simplified disease activity index remission after synthetic disease-modifying anti-rheumatic drug administration.	Ida H	呼吸器・神経・膠原病部門
Rheumatol Int	2012年2月	Long-term follow-up of adalimumab monotherapy for rheumatoid arthritis in Japanese patients: a report of six cases.	Ida H	呼吸器・神経・膠原病部門
J Thorac Oncol.	2012年3月	NDRG1/Cap43/Drg-1 may predict tumor angiogenesis and poor outcome in patients with lung cancer.	Azuma K	呼吸器・神経・膠原病部門
Appl Physiol Nutr Metab	2011年4月	Hybrid training of voluntary and electrical muscle contractions decreased fasting blood glucose and serum interleukin-6 levels in elderly people: a pilot study.	Kawaguchi T	消化器内科
Nutrition	2011年5月	Subjective global assessment is not sufficient to screen patients with defective hepatic metabolism.	Taniguchi E	消化器内科
Hepatol Res	2011年5月	Copper incorporation into ceruloplasmin is regulated by Niemann-Pick C1 protein.	Yanagimoto C	消化器内科
Hepato-gastroenterology	2011年5月	Supplementation before endoscopic therapy for esophageal varices reduces mental stress in patients with liver cirrhosis.	Itou M	消化器内科
Hepatol Res	2011年6月	Data mining reveals complex interactions of risk factors and clinical feature profiling associated with the staging of non-hepatitis B virus/non-hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Kawaguchi T	消化器内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol	2011年6月	Hybrid training of voluntary and electrical muscle contractions reduces steatosis, insulin resistance, and IL-6 levels in patients with NAFLD: a pilot study.	Kawaguchi T	消化器内科
Oncol Rep	2011年7月	Quantitative analysis of colorectal mucosal lesions by autofluorescence endoscopy: Discrimination of carcinomas from other lesions.	Arita K	消化器内科
Clin Exp Immunol	2011年10月	Isolation and characterization of a novel short peptide associated with Crohn's disease.	Mitsuyama K	消化器内科
Hepatol Res	2011年11月	Quick and simple method for increasing the reduced albumin fraction in human serum albumin preparations by using stronger neo-minophagen C.	Sakata M	消化器内科
PLoS One	2011年11月	Total and high molecular weight adiponectin and hepatocellular carcinoma with HCV infection.	Sumie S	消化器内科
Oncol Lett	2011年12月	Endoscopic discrimination of sessile serrated adenomas from other serrated lesions.	Hasegawa S	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol	2012年2月	Serum immunoglobulin G4 was associated with number and distribution of extrapancreatic lesions in type 1 autoimmune pancreatitis patients.	Kaji R	消化器内科
Int J OInt J Oncolncol	2012年3月	PPAR $\gamma$ potentiates anticancer effects of gemcitabine on human pancreatic cancer cells.	Koga H	消化器内科
J Hepatobiliary Pancreat Sci	2012年3月	Endoscopic ultrasonographic study on autoimmune pancreatitis and effect of steroid therapy.	Okabe Y	消化器内科
Clin Endocrinol	2011年4月	Factors associated with plasma ghrelin level in Japanese general population.	Nanjyo Y	心臓・血管内科
Hypertens Res	2011年4月	Enhanced cardiac inflammation and fibrosis in ovariectomized hypertensive rats: A possible mechanism of diastolic dysfunction in postmenopausal women.	Mori T	心臓・血管内科
Food and Nutrition Sciences	2011年7月	Trends in dietary intakes and serum cholesterol levels over 50 years in Tanushimaru in Japanese men.	Adachi H	地域医療連携講座
J Mol Cell Cardiol	2011年7月	Augmented neovascularization with magnetized endothelial progenitor cells in rats with hind-limb ischemia.	Koiwaya H	心臓・血管内科
Circ J	2011年8月	Systolic blood pressure predicts cardiovascular mortality in a farming but not in a fishing community: A 40-year follow up of the Japanese cohorts of the Seven Countries Study.	Hirai Y	心臓・血管内科
JACC: Cardiovasc Imaging	2011年10月	Pioglitazone attenuates atherosclerotic plaque inflammation in patients with impaired glucose tolerance or diabetes. - A prospective, randomized, comparator-controlled study using serial FDG PET/CT imaging study of carotid artery and ascending aorta -	Mizoguchi M	心臓・血管内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
J Hypertens	2011年10月	Low DBP may not be an independent risk for cardiovascular death in revascularized coronary artery disease patients.	Kai H	心臓・血管内科
Atherosclerosis	2011年11月	Serum level of pigment epithelium-derived factor is a marker of atherosclerosis in humans.	Tahara N	心臓・血管内科
Hypertension	2011年12月	Plasma aldosterone levels and development of insulin resistance: prospective study in a general population.	Kumagai E	心臓・血管内科
Heart Vessels	2012年1月	Long-term results of the maze procedure on left ventricular function for persistent atrial fibrillation associated with mitral valve disease.	Fukuda Y	心臓・血管内科
Cardiovasc Ther	2012年2月	Serum levels of advanced glycation end products (AGEs) are independent correlates of insulin resistance in nondiabetic subjects.	Tahara N	心臓・血管内科
J Am Coll Cardiol	2012年2月	Cardiac-specific deletion of SOCS-3 prevents development of left ventricular remodeling after acute myocardial infarction.	Oba T	心臓・血管内科
日本内科学会雑誌	2011年1月	ゾレドロン酸水和物投与後に発症した急性腎障害後に、ボルテゾミブ、デキサメタゾン併用療法が奏功し維持透析を離脱した多発性骨髄腫患者の一例。	小池 清美	腎臓内科
ONOO <sup>-</sup> /ADMA	2011年4月	糖尿病患者の酸化ストレスマーカー。	上田 誠二	腎臓内科
薬局	2011年4月	血圧・血糖・脂質管理のKey Drugs 多面的効果を考慮したより効果的な使い方 抗アルドステン薬。	安藤 亮太郎	腎臓内科
久留米医学会雑誌	2011年5月	終末糖化産物からみた慢性腎臓病(CKD)の病態解明と治療戦略。	深水 圭	腎臓内科
臨床透析	2011年	尿毒症物質と血圧異常。	岩谷 龍治	腎臓内科
Asian Pacific Society of Nephrology	2011年	Tissue Level of advanced glycation end products is an independent determinant of high-sensitivity C-reactive protein levels in haemodialysis patients.	Nagano M	腎臓内科
透析会誌	2011年	自己血管標準内シャント感染から大動脈グラフト感染、感染性大動脈瘤、大動脈食道瘻をきたした血液透析患者の1剖検例。	山口 裕輝子	腎臓内科
Biochimica et Biophysica Acta	2012	MELAS: A nationwide prospective cohort study of 96 patients in Japan.	Yatsuga S	小児科
Biochimica et Biophysica Acta	2012	Molecular Pathology of MELAS and L-arginine effects.	Koga Y	小児科
Brain and Dev	2012	Beneficial effect of pyruvate therapy on Leigh syndrome due to a novel mutation in PDH E1 $\alpha$ gene.	Koga Y	小児科
Biochimica et Biophysica Acta	2012	Biochemistry of Mitochondria, Life and Intervention. 2010.	Koga Y	小児科
European Neurology	2012	Evaluation of systemic redox states in patients carrying MELAS A3243G mutation in mitochondrial DNA.	Koga Y	小児科
Hum Mol Genet	2011 in press	Effect of bezafibrate treatment on late-onset mitochondrial myopathy in mice.	Yatsuga S	小児科
Cell Metab	2011 in press	Somatic stem cell homeostasis disrupted by mitochondrial DNA mutagenesis in prematurely aging mice.	Yatsuga S	小児科
筋ジストロフィーのすべて	2011 in press	世界に先駆けたミトコンドリア脳筋症の効果的な治療法の開発、難病と在宅のケア。	古賀靖敏	小児科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
医学のあゆみ	2011 in press	自主臨床研究から治験へ。本当は子どもに“使えない”薬の話-実際と、これをどう打開するか-	古賀靖敏	小児科
Circulation Journal	2012年2月	Evaluation of transplacental treatment for fetal congenital bradyarrhythmia - Nationwide survey in Japan -	Miyoshi T	小児科
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	2011年7月	Impact and issues of detecting fetal congenital heart defects in Kyushu, Japan.	Yoshikane Y	小児科
J Pediatr Gastroenterol Nutr	2011年10月	Zinc Monotherapy From Time of Diagnosis for Young Pediatric Patients With Presymptomatic Wilson Disease.	Mizuochi T	小児科
Liver Transpl	2011年9月	Successful Heterozygous Living Donor Liver Transplantation for an Oxysterol7 $\alpha$ -Hydroxylase Deficiency in a Japanese Patient.	Mizuochi T	小児科
Pediatr Int	2011年12月	Maternal and fetal circulation of unusual bile acids:A pilot study.	Seki Y	小児科
Brain Dev	2011年	Summer treatment program for children with attention deficit hyperactivity disorder: Japanese experience in 5years.	Yamashita Y	小児科
J Heart Valve Dis 20(4):474-476	2011年7月	Disc wear and entrapment in a Starr-Edwards mitral caged-disc valve.	Aoyagi S	外科
Eur J Vasc Endovasc Surg 42(2):178-184	2011年8月	Perioperative outcomes for elective open abdominal aortic aneurysm repair since the adoption of endovascular grafting procedures.	Hiromatsu S	外科
Surg Today 41(8):1054-1061	2011年8月	Thoracic endovascular aortic repair with homemade stent grafts: Early and mid-term outcomes.	Onitsuka S	外科
J Artif Organs 14(3):209-214	2011年9月	Twelve-year experience with the Carpentier-Edwards pericardial aortic valve at a single Japanese center.	Arinaga K	外科
Kurume Medical Journal 58:117-125	2011年11月	Preoperative Visualization of the Artery of Adamkiewicz by Dual-Phase CT Angiography in Patients with Aortic Aneurysm.	Amako M	外科
日本心臓血管外科学会雑誌 40(6):306-309	2011年11月	TALENTIによる術中A型大動脈解離の1例。	澤田健太郎	外科
脈管学 51(4):441-446	2011年12月	自己骨髄単核球細胞移植の成績と適応について。	岡崎悌之	外科
Journal of Spine Research	2011	Evidence Based Medicine of Neuromuscular Electrical Stimulation - Development of Hybrid Training System Utilizing Electrical Stimulatimuklation and Voluntary Muscle Contraction.	Shiba N	整形外科
MB Medical Rehabilitation	2011	腰痛を来す疾患 特集/腰痛予防とリハビリテーション。	佐藤公昭	整形外科
OS NOW Instruction 整形外科手術の新標準	2011	脊椎感染症に対する経皮的病巣搔爬ドレナージ。	佐藤公昭	整形外科
骨折	2011	脊椎インストルメントを併用して治療した骨盤輪骨折の3例。	白濱正博	整形外科
大腿骨頭部/転子部骨折の診断	2011	大腿骨頭部/転子部骨折診療ガイドライン。	白濱正博	整形外科
整形・災害外科	2011	高齢者における寛骨臼骨折。	白濱正博	整形外科
MB Orthop	2011	骨折治療ミニマムリクワイアメント:寛骨臼骨折。	白濱正博	整形外科
Journal of Spine Research	2011	脊椎機能モニタリングにおける脊椎疾患の病態に応じたアラームポイントの検討。	山田 圭	整形外科
Journal of Spine Research	2011	当院における頸髄損傷の現状と問題点。	山田 圭	整形外科



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
整形外科	2011	緩和治療においてMohsペーストが有用であった悪性軟部腫瘍の1例。	濱田 哲矢	整形外科
整形外科	2011年7月	四肢開放骨折(Gustilo分類type III B)に対する創内持続陰圧洗浄療法を用いた新しい治療戦略。	清川 兼輔	形成外科・顎顔面外科
J. Plast. Reconstr. & Aesthetic Surg.	2011年8月	Treatment strategies for refractory pulmonary fistulae using a latissimus dorsi muscle flap.	Watanabe K	形成外科・顎顔面外科
形成外科	2011年12月	創内持続陰圧洗浄療法によるWBP。	清川 兼輔	形成外科・顎顔面外科
日本血管外科学会雑誌	2011年12月	チーム医療による難治性足潰瘍の治療成績の検討。	井野 康	形成外科・顎顔面外科
Laser Therapy	2011年12月	New Combined Laser Therapy for Small Mass of Melanocytic Nevi on the Face.	Ohmaru Y	形成外科・顎顔面外科
Journal of Clinical Oncology	2011年4月	Phase I trial of a personalized peptide vaccine for patients positive for human leukocyte antigen-A24 with recurrent or progressive glioblastoma multiforme.	Terasaki M	脳神経外科
Journal of Neurooncology	2011年4月	A pilot study of hypofractionated radiation therapy with temozolomide for adults with glioblastoma multiforme.	Terasaki M	脳神経外科
The Neurologist	2012年1月	Successful treatment of leptomeningeal gliomatosis of pilomyxoid astrocytoma after failed frontline chemotherapy.	Terasaki M	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica	2012年1月	Members of the guidelines committee on the management of severe head injury contributed to the 2nd Japanese version; Guidelines for the management of severe head injury, 2nd edition Guidelines from the guidelines committee on the management of severe head injury, the Japan society of neurotraumatology.	Shigemori M	脳神経外科
J Pediatr Gastroenterol Nutrition	2011年12月	The utility of esophageal combined pH-multichannel intraluminal impedance measurements: the experience of our institution and the new trial.	Fukahori S	小児外科
Int Surg	2011年7月	Postoperative defecatory function of an ileal pouch-anal anastomosis after a restorative proctocolectomy for ulcerative colitis: Evaluation using fecoflowmetry.	Kobayashi Y	小児外科
小児外科	2011年6月	多チャンネル直腸肛門内圧測定による3次元立体圧像・断面圧像作製の試み。	橋詰直樹	小児外科
小児外科	2011年6月	治療効果判定から見た胃電図。	石井信二	小児外科
小児外科	2011年6月	直腸肛門運動機能検査の基礎とスタンダード。	八木 実	小児外科
J Dermatol	2011年	Exon 87 skipping of the COL7A1 gene in dominant dystrophic epidermolysis bullosa.	Koga H	皮膚科
J Pathol	2011年	Autoantibody-induced intestinal inflammation and weight loss in experimental epidermolysis bullosa acquisita.	Ishii N	皮膚科
The Color Atlas of Disorders of Keratinization Second Edition	2011年	Relationship between keratinizing disorders and inherited blistering disorders. In	Hamada T	皮膚科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
The Color Atlas of Disorders of Keratinization Second Edition	2011年	Ichthyosis follicularis, alopecia and photophobia (IFAP) syndrome. In	Fukuda S	皮膚科
The Color Atlas of Disorders of Keratinization Second Edition	2011年	Trichothiodystrophy. In	Ishii N	皮膚科
J Invest Dermatol	2011年	Demonstration of epitope spreading in bullous pemphigoid: results of a prospective multicenter study.	Hashimoto T	皮膚科
Arch Dermatol	2011年	Acquired smooth muscle hamartoma of the patchy follicular variant with meyersen phenomenon.	Matsuda M	皮膚科
Exp Dermatol	2011年	Lesional Th17 cells and regulatory T cells in bullous pemphigoid.	Arakawa M	皮膚科
Br J Dermatol	2011年	Brunsting-Perry type pemphigoid with IgG autoantibodies to laminin-332, BP230 and desmoplakins I/II.	Fukuda S	皮膚科
J Gynecol Oncol	2011年	A case of minimal uterine serous carcinoma with distant lymph node metastasis without peritoneal dissemination.	Kawano K	産婦人科
日本婦人科腫瘍学会雑誌	2011年	陰原発悪性黒色腫の一例。	小関剛	産婦人科
日本周産期・新生児医学会雑誌	2011年	低置胎盤の術中出血量に影響を及ぼす因子についての検討。	藏本昭孝	産婦人科
日本周産期・新生児医学会雑誌	2011年	出生前診断で先天性胸腺嚢胞を強く疑った一例。	堀之内崇士	産婦人科
Int J Clin Oncol	in press	Precise evaluation of chemotherapy - induced peripheral neuropathy using the visual analogue scale : a quantitative and comparative analysis of neuropathy occurring with paclitaxel - carboplatin and docetaxel - carboplatin therapy.	Takemoto S	産婦人科
Int J Clin Oncol	in press	Docetaxel / Irinotecan combination chemotherapy in platinum / taxan refractory and resistant ovarian cancer - JGOG/WJGOG intergroup study-	Ushijima K	産婦人科
臨床眼科	2011.6	Bilateral pinhole法が診断に有効であった3例。	長島弘明	眼科
臨床眼科	2011.6	球結膜下にみられたgiant cell angiofibromaの1例。	頼田圭輔	眼科
臨床眼科	2011.9	15年間のVogt-小柳-原田病の検討。	井上留美子	眼科
あたらしい眼科	2012.2	視神経網膜炎を伴った猫ひっかき病。	田口千香子	眼科
Clinical Ophthalmology	2012.3	A clinically challenging diagnosis of adenoma of the retinal pigment epithelium presenting with clinical features of choroidal hemangioma.	Nakamura S	眼科



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Experimental and Therapeutic Medicine	2011.4.1	Correlation of Kupffer cell function and hepatocyte function in chronic viral hepatitis evaluated with superparamagnetic iron oxide-enhanced magnetic resonance imaging and scintigraphy using technetium-99m-labelled galactosyl human serum albumin.	Tonan T	放射線科
Clin Nucl Med	2011.6.13	Comparison between endoscopic macroscopic classification and F-18 FDG PET findings in gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma patients.	Hirose Y	放射線科
Eur Radiol	2011.6.20	Acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis: high-resolution CT scores predict mortality.	Fujimoto K	画像診断センター
Jpn J Radiol	2011.7.13	Hepatic arterial infusion chemotherapy with a coaxial reservoir system using a non-braided spiral tip microcatheter.	Koganemaru M	放射線科
Am J Roentgenol	2011.8.11	Ultraslective arterial embolization of vasa recta using 1.7-French microcatheter with small-sized detachable coils in acute colonic hemorrhage after failed endoscopic treatment.	Koganemaru M	放射線科
Pancreas	2011.8.18	Assessment of Chronic Pancreatitis: Use of Whole Pancreas Perfusion With 256-Slice Computed Tomography.	Arikawa S	放射線科
J Gastroenterol Hepatol	2011.11.30	CD14 expression and Kupffer cell dysfunction in non-alcoholic steatohepatitis: Superparamagnetic iron oxide-magnetic resonance image and pathologic correlation.	Tonan T	放射線科
PLoS ONE	2012.2.23	Quantification of Hepatic Iron Concentration in Chronic Viral Hepatitis: Usefulness of T2-weighted Single-Shot Spin-Echo Echo-Planar MR Imaging.	Tonan T	放射線科
日本口腔診断学会雑誌	2011年	口腔粘膜疾患に対するオゾンナノバブル水の臨床効果-口腔扁平苔癬と口腔白板症への応用-	岩本修	歯科口腔医療センター
日本口腔顎顔面技工研究会会誌	2011年	中咽頭腫瘍術後腹直筋皮弁再建症例への義歯製作経験例。	陶山日出美	歯科口腔医療センター
日本歯科技工学会雑誌	2011年	久留米大学病院歯科口腔医療センターでの軟口蓋上装置の対応。	陶山日出美	歯科口腔医療センター
第25巻第3号 日本がん看護学会誌	2011年11月	多発性骨髄腫患者に対するボルテゾミブ治療における末梢神経障害マネジメント～神経障害質問票を活用して～	津留崎寛子	看護部
日本手術看護学会誌 Vol.7no.1	2011年7月	手術室に配置転換した看護師の勤務継続に関わる要因～手術室配置後3年未満の看護師とその他の看護師との比較～	光武佳代	看護部
第42回日本看護学会論文 集.成人看護Ⅱ	2012年3月	入院時から取り組む退院調整～退院支援フローチャートを活用して～	東海林眞美	看護部
臨床病理	2011年5月	血液培養より分離された Desulfovibrio desulfuricans の1例。	棚町千代子	臨床検査部
医学検査	2012年3月	末梢神経伝導検査の違いを認めた慢性炎症性髄性ニューロパチー(CIDP)の2小児例。	伊藤慎一郎	臨床検査部
医学検査	2012年1月	緊急検査部門におけるパニック値の報告状況解析。	早田峰子	臨床検査部
Diagnostic Cytopathology	2011年3月	Morphometric analysis and p63 improve the identification of myoepithelial cells in breast lesion cytology.	Kage M	病院病理部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Diagnostic cytopathology	2011年4月	Follow-up evaluation of radiation-induced DNA damage in CSF disseminated high-grade glioma using phospho-histone H2AX antibody.	Kage M	病院病理部
Diagnostic Cytopathology	2011年5月	Morphometric image analysis of pancreatic disease by ThinPrep liquid-based cytology.	Kage M	病院病理部
Journal Of Oral Pathology & Medicine	2011年7月	Nuclear $\beta$ -catenin expression in basal cell adenomas of salivary gland.	Kage M	病院病理部
Lung Cancer	2011年10月	Identification of non-small-cell lung cancer with activating EGFR mutations in malignant effusion and cerebrospinal fluid: rapid and sensitive detection of exon 19 deletion E746-A750 and exon 21 L858R mutation by immunocytochemistry.	Kage M	病院病理部
Cancer Cytopathology	2011年10月	Comparison of the expression levels of napsin A, thyroid transcription factor-1, and p63 in nonsmall cell lung cancer using cytocentrifuged bronchial brushings.	Kage M	病院病理部
Pediatric Surgery International	2011年11月	The herbal medicine Inchinko-to reduces hepatic fibrosis in cholestatic rats.	Kage M	病院病理部
Journal of Molecular Diagnostics	2011年5月	Rapid detection of haptoglobin gene deletion in alkaline-denatured blood by loop-mediated isothermal amplification reaction.	Kouda Y	法医学・人類遺伝学講座
Transfusion	2011年4月	TaqMan-based real-time polymerase chain reaction for detection of FUT2 copy number variations: identification of novel Alu-ediated deletion.	Kouda Y	法医学・人類遺伝学講座
日本輸血・細胞治療学会誌	2011年4月	LAMP法を用いた輸血副作用原因遺伝子ハプトグロビン欠失アレルの検出。	Kouda Y	法医学・人類遺伝学講座
Cancer letters	2011年	N-myc downstream regulated gene1/Cap43 overexpression suppresses tumor growth by hepatic cancer cells through cell cycle arrest at the G0/G1 phase.	Akiba J	病理学講座
Cancer Sci	2011.7	Detection of HTLV-1 by means of HBZ gene in situ hybridization in formalin-fixed and paraffin-embedded tissues.	Oshima K	病理学講座
Cancer Sci	2011.9	Small cell variant of mantle cell lymphoma is an indolent lymphoma characterized by bone marrow involvement, splenomegaly, and a low Ki-67 index.	Oshima K	病理学講座
Diagn Pathol	2011.8	Aberrant antigenic expression in extranodal NK/T-cell lymphoma: a multi-parameter study from Thailand.	Oshima K	病理学講座
Haematologica	2011.11	Cytotoxic molecule-positive classical Hodgkin's lymphoma: a clinicopathological comparison with cytotoxic molecule-positive peripheral T-cell lymphoma of not otherwise specified type.	Oshima K	病理学講座
Histopathology	2011.10	Clinicopathological analysis of the age-related differences in patients with Epstein-Barr virus (EBV)-associated extranasal natural killer (NK)/T-cell lymphoma with reference to the relationship with aggressive NK cell leukaemia and chronic active EBV infection-associated lymphoproliferative disorders.	Oshima K	病理学講座

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
Radiology	2011	Evaluation of the mean and entropy of apparent diffusion coefficient values in chronic hepatitis C: correlation with pathologic fibrosis stage and inflammatory activity grade.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Hepatogastroenterology	2011	Supplementation before endoscopic therapy for esophageal varices reduces mental stress in patients with liver cirrhosis.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Hepatogastroenterology	2011	Serum level of free fatty acids is associated with nocturnal hypoglycemia in cirrhotic patients with HCV infection: a pilot study.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Appl Physiol Nutr Metab	2011	Hybrid training of voluntary and electrical muscle contractions decreased fasting blood glucose and serum interleukin-6 levels in elderly people: a pilot study.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
J Gastroenterol	2011	Hybrid-training of voluntary and electrical muscle contractions reduces steatosis, insulin resistance and IL-6 levels in patients with NAFLD.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Oncol Rep	2011	Periostin, a matrix protein, has potential as a novel serodiagnostic marker for cholangiocarcinoma.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Exp Ther Med	2011	Correlation of Kupffer cell function and hepatocyte function in chronic viral hepatitis evaluated with superparamagnetic iron oxide-enhanced magnetic resonance imaging and scintigraphy using technetium-99m-labelled galactosyl human serum albumin.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Hepatol Res	2011	Data mining reveals complex interactions of risk factors and clinical feature profiling associated with the staging of non-hepatitis B virus/non-hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Nutrition	2011	Subjective global assessment is not sufficient to screen patients with defective hepatic metabolism.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Hepatol Res	2011	Copper incorporation into ceruloplasmin is regulated by Niemann-Pick C1 protein.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Aliment Pharmacol Ther	2011	Meta-analysis: insulin resistance and sustained virological response in hepatitis C.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
Virol J	2011	Effect of oral care gel on the quality of life for oral lichen planus in patients with chronic HCV infection.	Nagao Y	消化器疾患情報講座
Hepatol Res	2011	Quick and simple method for increasing the reduced albumin fraction in human serum albumin preparations by using stronger neo-minophagen C.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
PLoS One	2011	Total and high molecular weight adiponectin and hepatocellular carcinoma with HCV infection.	Kawaguchi T	消化器疾患情報講座
新薬と臨床	2011	分岐鎖アミノ酸・亜鉛含有栄養補助食品であるアミノフィール®の市販後全例追跡調査～有効性ならびに安全性の検討～	長尾由実子	消化器疾患情報講座

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
久留米医学会雑誌	2011	消化器疾患患者における肥満の実態調査とBMIによる肥満診断の特徴。	川口巧	消化器疾患情報講座
久留米医学会雑誌	2011	肝癌・食道胃静脈瘤治療の栄養状態におよぼす影響～多周波数生体電気インピーダンス法を用いた評価～	川口巧	消化器疾患情報講座
久留米医学会雑誌	2011	看護師による肝硬変患者教室の有効性。	川口巧	消化器疾患情報講座
Neuropharmacology	2011年3月	Volatile anesthetic effects on isolated GABA synapses and extrasynaptic receptors.	Ogawa S	生理学講座 脳・神経機能部門
International Journal of Developmental Neuroscience	2011年12月29日	Ghrelin levels are reduced in Rett syndrome patients with eating difficulties.	Hara M	小児科学講座 (生理学講座)
厚生省・難治性疾患克服事業「レット症候群シンポジウム2011」	2011年12月4日	レット症候群の臨床的・基礎的研究。	西 芳寛	生理学講座 脳・神経機能部門
第111回 九州医師会・医学会総会	2011年11月19日	レット症候群の低グレリン血症と臨床症状との関連。	原 宗嗣	小児科学講座 (生理学講座)
第53回 日本小児科学会総会	2011年5月26日	MeCP2遺伝子変異をもつレット症候群患者の血漿中グレリン濃度の検討。	原 宗嗣	小児科学講座 (生理学講座)
第84回 日本内分泌学会総会	2011年4月21日	Plasma concentrations of ghrelin in patients with Rett syndrome, together with their relationship to clinical manifestations.	Nishi Y	生理学講座 脳・神経機能部門
Atherosclerosis	2011年11月	Serum level of pigment epithelium-derived factor is a marker of atherosclerosis in humans.	Yamagishi S	糖尿病性血管合併症病態・治療学
Curr Drug Targets	2011年12月	Role of advanced glycation end products (AGEs) in osteoporosis in diabetes.	Yamagishi S	糖尿病性血管合併症病態・治療学
Pharm Res	2011年5月	Vildagliptin blocks vascular injury in thoracic aorta of diabetic rats by suppressing advanced glycation end product-receptor axis.	Yamagishi S	糖尿病性血管合併症病態・治療学
Am J Pathology	2011年5月	Administration of pigment epithelium-derived factor inhibits left ventricular remodeling and improves cardiac function in rats with acute myocardial infarction.	Yamagishi S	糖尿病性血管合併症病態・治療学
JACC-Imaging	2011年10月	Pioglitazone attenuates atherosclerotic plaque inflammation in patients with impaired glucose tolerance or diabetes a prospective, randomized, comparator-controlled study using serial FDG PET/CT imaging study of carotid artery and ascending aorta.	Yamagishi S	糖尿病性血管合併症病態・治療学
Experimental and Therapeutic Medicine	2011	Phase I clinical study of a personalized peptide vaccination available for six different human leukocyte antigen (HLA-A2, -A3, -A11, -A24, -A31 and -A33)-positive patients with advanced cancer.	Itoh K	免疫・免疫治療学講座
Cancer Biol Ther	2011	Assessment of immunological biomarkers in patients with advanced cancer treated by personalized peptide vaccination.	Itoh K	免疫・免疫治療学講座
J Clin Oncol.	2011	Phase I trial of a personalized peptide vaccine for patients positive for human leukocyte antigen--A24 with recurrent or progressive glioblastoma multiforme.	Itoh K	免疫・免疫治療学講座
Oncol Rep.	2011	Characteristics of severe adverse events after peptide vaccination for advanced cancer patients: Analysis of 500 cases.	Itoh K	免疫・免疫治療学講座

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
The Prostate.	2011	A phase I study of personalized peptide vaccination using 14 kinds of vaccine in combination with low-dose estramustine in HLA-A24-positive patients with castration-resistant prostate cancer.	Itoh K	免疫・免疫治療学講座
BJU Int	2011	A phase I study of personalized peptide vaccination for advanced urothelial carcinoma patients who failed treatment with methotrexate, vinblastine, adriamycin and cisplatin.	Itoh K	免疫・免疫治療学講座
Prostate	2011年4月	A phase I study of personalized peptide vaccination using 14 kinds of vaccine in combination with low-dose estramustine in HLA-A24-positive patients with castration-resistant prostate cancer.	Noguchi M	先端癌治療研究センター臨床研究部門
腫瘍内科	2011年11月	ペプチドワクチンを用いた免疫療法 3) 前立腺がんワクチン。	守屋 普久子	泌尿器科
西日本泌尿器科	2012年4月	去勢抵抗性前立腺がんに対するペプチドワクチン療法の現状と今後。	守屋 普久子	泌尿器科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 中島 格		
管理担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙1)	管理関係 事務部長	近藤 政美

	保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、 看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、 退院した患者に係る 入院期間中の 診療経過の要約 及び入院診療計画書	各診療科の 医局資料室 病院資料室 セミアクティブカルテ室 診療情報管理室 外部倉庫	(入院)H15.4.1以降の診療諸記録に関して、診療記録はID番号を付与しターミナルデジット方式にて診療情報管理室で保管。X線写真は、各外来診療科・セミアクティブカルテ室・各医局資料室で保管。H15.3.31以前の診療諸記録に関しては、各科独自の管理番号付与方式にて医局資料室・外部倉庫にて保管。 (外来)最終受診日から1年以内の診療諸記録に関しては、ID番号を付与しターミナルデジット及び各科独自の管理番号を付与しセミアクティブカルテ室・各医局資料室・外部倉庫にて保管	
病院の管理及び 運営に関する諸 記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	病院管理課	
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供 の実績	病院管理課	
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳簿	病院経営室 及び薬剤部	
	第一 号第 一 条第 十 一 項 第 一 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項	医療に係る安全管理のための 指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための 委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための 職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の 医療に係る安全の確保を目的と した改善のための方策の状況	医療安全管理部
		専任の医療に係る安全管理を 行う者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を 行う者の配置状況	感染制御部
		医療に係る安全管理を行う 部門の設置状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理 に係る相談に適切に応じる体制の 確保状況	医療安全管理部



		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	久留米大学HP 感染関連マニュアル集
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部長事務取扱
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	手順書…各部署 実施状況…薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	手順書…各部署 実施状況…薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理責任者 坂本照夫 (臨床工学センター長)
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター 画像診断センターA 放射線治療センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター 画像診断センター 放射線治療センター 核医学検査室 心臓カテーテル検査室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター 画像診断センターA		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

管理担当者一覧

診療科	管理担当者氏名	診療科	管理担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	星野 友昭	泌尿器科	松岡 啓
消化器内科	佐田 通夫	産婦人科	嘉村 敏治
心臓・血管内科	今泉 勉	眼科	山川 良治
腎臓内科	奥田 誠也	耳鼻咽喉科	中島 格
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	早瀬 尚文
血液内科	岡村 孝	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	牛島 一男
小児科	松石 豊次郎	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	白水 和雄	呼吸器病センター	星野 友昭
	田中 啓之	消化器病センター	佐田 通夫
整形外科	永田 見生	循環器病センター	田中 啓之
形成外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	森岡 基浩	乳腺外科・一般外科総合外来	白水 和雄
小児外科	八木 実	薬剤部	佐田 通夫
皮膚科	橋本 隆		

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 中島 格
閲覧担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙2) 管理関係 事務部長 近藤 政美
閲覧の求めに応じる場所	第3会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	82.1%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	17,870	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	25,977	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,464	人
	D: 初診の患者の数	29,181	人

(注)1 「紹介率」欄は、A、B、C、の和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

閲覧担当者一覧

診療科	閲覧担当者氏名	診療科	閲覧担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	星野 友昭	泌尿器科	松岡 啓
消化器内科	佐田 通夫	産婦人科	嘉村 敏治
心臓・血管内科	今泉 勉	眼科	山川 良治
腎臓内科	奥田 誠也	耳鼻咽喉科	中島 格
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	早淵 尚文
血液内科	岡村 孝	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	牛島 一男
小児科	松石 豊次郎	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	白水 和雄	呼吸器病センター	星野 友昭
	田中 啓之	消化器病センター	佐田 通夫
整形外科	永田 見生	循環器病センター	田中 啓之
形成外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	森岡 基浩	乳腺外科・一般外科総合外来	白水 和雄
小児外科	八木 実	薬剤部	佐田 通夫
皮膚科	橋本 隆		

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容</li> <li>1. 安全管理に関わる基本的考え方</li> <li>2. 安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関わる基本的事項</li> <li>3. 安全管理の職員研修に関わる基本方針</li> <li>4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした方策に関する基本方針</li> <li>5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7. 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容</li> <li>医療安全管理対策委員会</li> <li>セーフティコントロールチーム委員会</li> <li>インシデント小委員会</li> <li>(医薬品安全管理小委員会、医療機器安全管理小委員会、抗腫瘍薬物療法プラトコル認証委員会</li> <li>事故調査委員会、救急蘇生委員会、感染対策委員会、輸血療法委員会、</li> <li>医療ガス安全管理委員会、看護部安全対策委員会)</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 13回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容</li> <li>TQM講習会(安全、感染) 毎月1回、その他臨時実施</li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容:</li> <li>委員会巡回確認</li> <li>委員会での再発防止策の策定</li> <li>職員研修</li> <li>安全情報(日本医療機能評価機構等、医療事故情報等)からポスター作製</li> <li>委員会報告</li> <li>かわら版掲載 等</li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) ( 5名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 4名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員: 専任 ( 5 ) 名 兼任 3) 名</li> <li>・ 活動の主な内容:</li> <li>・ 医療安全管理対策の推進</li> <li>・ 医療安全各委員会企画・運営</li> <li>・ 事故等に関する診療録や看護記録等への記載についての、確認及び指導に関すること</li> <li>・ 患者や家族への説明や事故発生時の対応状況についての、確認及び指導に関すること</li> <li>・ 事故等の原因究明が適切に実施されていることについての、確認及び指導に関すること</li> <li>・ 医療安全に係る連絡調整に関すること</li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無



## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・院内感染発生時対応に関する基本指針</li> <li>・委員会等の組織に関する基本的事項</li> <li>・指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>・職員研修に関する基本方針</li> <li>・その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> <li>・院内感染発生状況の報告に関する基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VRE積極的監視培養の結果報告</li> <li>・久留米大学インфекションコントロールチームからの活動報告 (抗生剤適正使用状況監視、サーベイランス結果報告、針刺し・切創報告、ICT活動(週1回程度の病棟ラウンド)状況、LN会活動状況報告等)</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 38回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経路別感染予防策</li> <li>・手指衛生</li> <li>・抗生剤適正使用</li> <li>・針刺し・切創対策等</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備： (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>血培陽性者及び感染症法に定められた感染症に関する菌(耐性菌)・ウイルスに関しては毎日、細菌検査室より報告書にて報告され、その都度ICD/ICNが介入。保健所などへの報告は主に感染制御部が介入し、行っている。院内感染対策推進は院内ではICT/LN活動を積極的に行い感染予防に力を入れている。また、院外地域病院と連携し、研修・講習会等を実施している。</p>	

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・研修の主な内容： 平成24年6月19日 第79回久留米大学病院TQM講習会 ・「副作用報告制度について」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 ( (有) ・ 無 ) ・業務の主な内容： ・病棟、外来の定数配置薬の数や有効期限の定期的チェック ・麻薬、向精神薬の管理状況の巡回 ・手順書遵守状況の確認(ダブルチェック、指示出し・指示受け等)	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 ( (有) ・ 無 ) ・その他の改善のための方策の主な内容：  ・日本医療機能評価機構の医療安全情報をオーダリングシステム上に載せ、各病棟にも配布し、医師・看護師等に周知徹底を図っている。 ・PMDAからの医薬品適正使用のお願いをオーダリングシステム上に載せ、関係する診療科には、適正使用の確認をしている。 ・製薬企業からの医薬品適正使用に関するお知らせをオーダリングシステム上に載せ、担当薬剤師による病棟への情報提供を行っている。	

(様式第13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の使用に係る安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人工呼吸器：患者さんに安全な人工呼吸器療法及び構造、アラーム及び対処法</li><li>・閉鎖式保育器：保育器管理におさえておきたい基本、その他</li><li>・血液浄化装置：血液浄化の安全管理、緊急時及びアラーム時の対処について、その他</li><li>・人工心肺装置及び補助循環装置：安全な取扱い、緊急時の対処法、日常の管理について</li><li>・除細動装置：基本的な構造及び使用方法、日常点検、注意事項について</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の策定 <input checked="" type="radio"/> (有) ・ 無 )</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人工呼吸器、閉鎖式保育器、血液浄化装置、人工心肺装置及び補助循環装置、除細動器については、年に1回の定期点検及び必要な部品の交換、日常の保守管理を行っている。</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> (有) ・ 無 )</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・医療機器安全情報については多方面より情報収集を行い、より重要な情報については、医療機器管理小委員会、医療安全管理対策委員会に報告、また、各病棟・外来・関係講座へ「安全情報」として配付することにより院内への周知を行っている。</li></ul>	